

2 管内の概要（平成 20 年 10 月 1 日現在）

位 置

管内は、岐阜県の東南端に位置し、東は長野県、南は愛知県に接し、森林構成比が極めて高い農山村型の地域であり、その広さはおよそ東西に 34Km、南北に 67Km、面積は岐阜県の 11.1 %にあたる 1,180.57Km² で中津川市・恵那市からなっている。

地 勢

北東に三界山、西に笠置山、二つ森山、東に恵那山、南に奥三河高原に囲まれ、長野県に源を発する木曾川が管内のほぼ中央を東から西へ貫流し、南端では矢作川が愛知県との県境をなし、山河に恵まれた起伏に富んだ地形である。気象は内陸型、雨量、積雪ともに少なく冷涼である。

人 口

平成 20 年の人口は 137,347 人（H20.10.1）で岐阜県全体のおよそ 6.5 %を占めている。人口の推移は昭和 35 年から 45 年にかけて減少したが、その後は横ばいの傾向にある。年齢構成は、平均寿命の伸長、出生率の低下、若年者の大都市への流出等から人口の高齢化が急速に進んでおり、老年人口が 27.2 %を占めている。

交 通

JR 中央線、第三セクターによる明知鉄道のほか、主要幹線道路として中央自動車をはじめ、国道 19 号（名古屋市～長野市）、256 号（岐阜市～飯田市）、257 号（浜松市～高山市）、363 号（名古屋市～中津川市）、418 号（大野市～飯田市）の 5 路線と主要地方道 12 路線、一般県道 25 路線など、地域の経済活動、生活基盤、救急医療、防災を支える動脈として、交通のネットワークを形成している。

観 光

恵那峡、胞山、裏木曾の三つの県立自然公園をはじめ、「阿木川湖」「椀の湖」などの優れた景観をみることができる。

また、岩村城跡、苗木城跡、日本大正村並びに中山道沿いには、先人によって育まれてきた馬籠宿をはじめ、数多くの文化遺産があり、近年特に余暇の増加とともに訪れる観光客も多い。